

十二月(師走)その2

高野長英記念館の風景

冬将軍 到来

日本に南下してくるシベリア寒気団を 冬将軍と呼ぶことがあります この冬将軍の由来は ナポレオン率いるフランス軍がロシア侵攻に際して その年 冬の到来が早く 冬装備が不足したナポレオン軍があえなく撤退したことを イギリスの新聞社が「冬将軍に敗れる」と表現したとか

○今年一年の草木を振り返って【4月～12月】



日本で初めて、ナポレオンを紹介したのは、長英より17歳と年上の小関三英（山形県庄内出身）です。オランダのリンデン著「ナポレオン伝」をいち早く入手し、

「^{ナポレオン}那勃列翁伝」として翻訳し日本に紹介しました。当時、長英は江戸に遊学し、三英と入れ違いで、吉田長淑(蘭馨堂・内科医)の門人となったようです。三英は江戸を離れ、仙台藩校「養賢堂」から独立した「医学館」の蘭学科で教授となります。その後恐らくは、三英が渡辺崋山に長英を紹介し、長英は崋山と知り合うこととなります。



ほぼヨーロッパ全土を掌握したナポレオン、イギリスとの独立戦争での指揮官ワシントンの活躍ぶりは蘭学のネットワーク通じて、蘭学者の知れ渡ることとなります。



鎖国下において、海外の英雄伝、海外情報は長英をはじめとする開明の世を目指す人々にとっては、苦難をも乗り越えるエネルギーと勇気を与えてくれたことと思います。